売掛金・買掛金

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　売掛金・買掛金の内容を理解しよう！

②　発生と消滅の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「売掛金」勘定（資産）

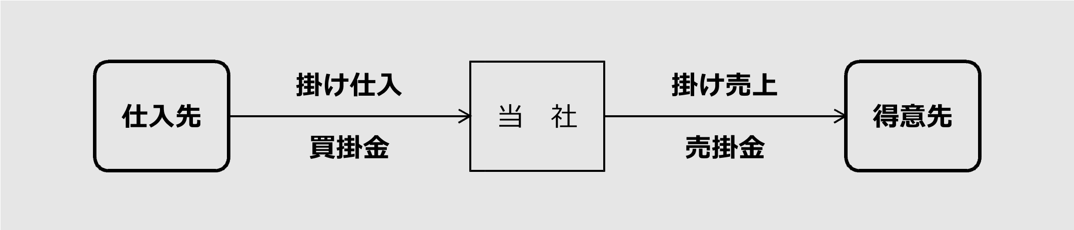
「買掛金」勘定（負債）

（１）売掛金・買掛金とは？

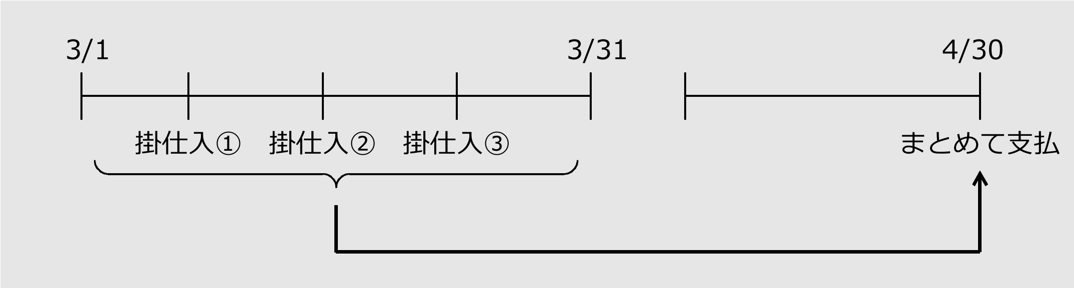
売掛金（うりかけきん）とは、商品の販売代金を売上時には受け取らず、後日に販売代金を受け取る権利をいい、「**売掛金**」勘定（**資産**）で処理します。

買掛金（かいかけきん）とは、商品の仕入時に購入代金を支払わず、後日に購入代金を支払う義務をいい、「**買掛金**」勘定（**負債**）で処理します。

なお、仕入を行う取引先を**仕入先**（しいれさき）、販売を行う取引先を**得意先**（とくいさき）といいます。



このように、取引時に代金の支払や受取をせず、後日に代金の支払や受取を行う取引を**掛け**（か）による取引といいます。これにより、取引の都度お金を用意する必要がなくなります。「月末締め、翌月末払い」といった取引条件は、取引の都度支払を行わずに1ヶ月の取引高を取引月の翌月にまとめて支払うことですので、掛けによる取引を意味します。



（2）会計処理

① 買掛金

例題　商品1,000円を掛けで仕入れた。

買掛金という、後日代金を支払う義務（負債）が生じたので「買掛金」勘定（負債）の増加として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	**1,000**	**買掛金**	**1,000**

例題　買掛金1,000円を現金で支払った。

代金を支払うと買掛金という負債が減少するので「買掛金」勘定（負債）の減少として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
買掛金	**1,000**	**現金**	**1,000**

② 売掛金

例題　商品を1,200円で掛けで売り上げた。

売掛金という、後日代金を受け取る権利（資産）が生じたので「売掛金」勘定（資産）の増加として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
売掛金	**1,200**	**売上**	**1,200**

例題　売掛金1,200円を現金で受け取った。

代金を受け取ると売掛金という資産が減少するので「売掛金」勘定（資産）の減少として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	**1,200**	**売掛金**	**1,200**

前払金・前受金

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　前払金・前受金の内容を理解しよう！

②　発生と消滅の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「前払金」勘定（資産）

「前受金」勘定（負債）

（1）前払金・前受金とは？

商品を仕入れる前に代金の一部を内金や手付金として前払いする場合があります。これを**前払金**（まえばらいきん）といいます。この場合、後日、商品を受け取る権利が生じますので、これを「**前払金**（または、前渡金（まえわたしきん））」勘定（**資産**）で処理します。

商品を販売する前に代金の一部を内金や手付金として前受けする場合があります。これを**前受金**（まえうけきん）といいます。この場合、後日、商品を引き渡す義務が生じますので、これを「**前受金**」勘定（**負債**）で処理します。

（2）会計処理

① 前払金

例題 **商品800円を注文し、内金として200円を現金で支払った。**

前払金という資産が増加したので「前払金」勘定（資産）の増加として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
前払金	**200**	**現金**	**200**

例題 **商品800円を仕入れ、代金のうち200円は注文時に支払った内金と相殺し、残額600円は掛けとした。**

実際に商品を仕入れたので、前払金という商品を受け取る権利（資産）が減少したので「前払金」勘定（資産）の減少として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	**800**	**前払金**	**200**
		買掛金	**600**

② 前受金

例題　商品800円の注文を受け、内金として200円を現金で受け取った。

前受金という負債が増加したので「前受金」勘定（負債）の増加として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	**200**	**前受金**	**200**

例題　商品800円を売り上げ、代金のうち200円は注文時に受け取った内金と相殺し、残額600円は掛けとした。

実際に商品を販売したので、前受金という商品を引き渡す義務（負債）が減少したため「前受金」勘定（負債）の減少として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
前受金	**200**	**売上**	**800**
売掛金	**600**		

商品売買① 問題

問題1　期末商品は2,000円であった。そこで、①決算整理仕訳を行うとともに、②仕入勘定と繰越商品勘定を記入（勘定の締切りは不要）し、③決算整理後残高試算表の空欄にあてはまる金額を答えなさい。なお、決算日は3月31日である。

決算整理前残高試算表（一部）

繰越商品	1,500	売上	16,000
仕入	13,000		

問題2　以下の取引に関して、仕訳を行いなさい。

① 商品4,000円を仕入れ、代金のうち1,000円は現金で支払い、残額は掛けとした。
② 商品を6,000円で売り渡し、代金のうち1,500円は現金で受け取り、残額は掛けとした。
③ 商品4,200円を注文し、手付金として500円を現金で支払った。
④ 商品仕入の掛代金3,000円を現金で支払った。
⑤ 商品4,200円を仕入れ、代金のうち500円は手付金として支払っていたので、残額を現金で支払った。
⑥ 商品4,800円の注文を受け、内金として1,200円を現金で受け取った。
⑦ 得意先から先月締めの掛代金4,500円の回収として、振込手数料200円（当社負担）を差し引かれた残額が当社の普通預金口座に振り込まれた。
⑧ 商品4,800円を販売し、代金のうち1,200円は内金として受け取っていたので相殺し、残額を現金で受け取った。
⑨ 仕入先に対して買掛金の支払額5,000円と次回の商品仕入のための手付金4,000円として、小切手9,000円を振り出した。

商品売買①　答案用紙

問題1

①　決算整理仕訳

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
3/31				
〃				

②　勘定記入

繰越商品

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
4	1	前期繰越	1,500				

仕　入

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
8	8	現　金	13,000				

③　決算整理後残高試算表（一部）

決算整理後残高試算表

繰越商品（　　　）	売　上（　　　）
仕　入（　　　）	

問題2

	借方科目	金　　額	貸方科目	金　　額
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				
⑧				
⑨				

商品売買① 解答解説

問題1 **解答**

① 決算整理仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/31	**仕入**	**1,500**	**繰越商品**	**1,500**
〃	**繰越商品**	**2,000**	**仕入**	**2,000**

② 勘定記入

繰越商品

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
4	1	前期繰越	1,500	3	31	仕入	1,500
3	31	仕入	2,000				

仕入

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
8	8	現金	13,000	3	31	繰越商品	2,000
3	31	繰越商品	1,500				

③ 決算整理後残高試算表（一部）

決算整理後残高試算表

繰越商品	(2,000)	売上	(16,000)
仕入	(12,500)		

問題1　**解説**

・勘定記入

　決算整理仕訳にもとづいて、正しく転記できるようにして下さい。特に、摘要欄に相手勘定科目を記入する点に注意して下さい。

・前T/B

　「繰越商品」勘定（資産）は期首商品を意味し、「仕入」勘定（費用）は当期仕入を意味します。

・後T/B

　「繰越商品」勘定（資産）は期末商品を意味し、「仕入」勘定（費用）は売上原価を意味します。

商　　品

期首商品	1,500	売上原価	12,500
当期仕入	13,000	期末商品	2,000

問題2　解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	仕入	4,000	現金 買掛金	1,000 3,000
②	現金 売掛金	1,500 4,500	売上	6,000
③	前払金	500	現金	500
④	買掛金	3,000	現金	3,000
⑤	仕入	4,200	前払金 現金	500 3,700
⑥	現金	1,200	前受金	1,200
⑦	普通預金 支払手数料	4,300 200	売掛金	4,500
⑧	前受金 現金	1,200 3,600	売上	4,800
⑨	買掛金 前払金	5,000 4,000	当座預金	9,000

問題2　解説

①　商品を掛けで仕入れた場合、「買掛金」勘定（負債）で処理します。

②　商品を掛けで売り上げた場合、「売掛金」勘定（資産）で処理します。

③　商品を仕入れる前に代金の一部を内金や手付金として前払いした場合、「前払金」勘定（資産）で処理します。

④　仕入に関する掛代金を支払った場合、「買掛金」勘定（負債）の減少として処理します。

⑤　前払金として以前にお金を支払っており、実際に仕入れた場合、「前払金」勘定（資産）の減少として処理します。

⑥　商品を販売する前に代金の一部を内金や手付金として前受けした場合、「前受金」勘定（負債）で処理します。

⑦　売上に関する掛代金を受け取った場合、「売掛金」勘定（資産）の減少として処理します。なお、振込手数料は当社負担ですので、普通預金に振り込まれた金額は、売掛金の金額から振込手数料が控除された金額となります。また、当社負担の振込手数料は「支払手数料」勘定（費用）で処理します。

⑧　前受金として以前にお金を受け取っており、実際に売り上げた場合、「前受金」勘定（負債）の減少として処理します。

⑨　仕入のための手付金は「前払金」勘定（資産）の増加として処理します。